

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科： 地理歴史 科目： 世界史探究 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書： 詳説 世界史 世界史探究（山川出版社）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A 世界史へのまなざし 【知識及び技能】 衣食住、家族、教育、余暇などの身の回りの諸事象を基に、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 衣食住、家族、教育、余暇などの身の回りの諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うこと。	・人類の歴史 ・身の回りの歴史	【知識・技能】 衣食住、家族、教育、余暇などの身の回りの諸事象を基に、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣食住、家族、教育、余暇などの身の回りの諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。	○	○	○	1
	B 古代文明の歴史的特質 【知識及び技能】 オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 古代文明に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うこと。	・オリエント文明 ・インダス文明 ・中華文明	【知識・技能】 オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代文明に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとしている。	○	○	○	9

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
前期	C 諸地域の歴史的特質 【知識及び技能】 東アジアと中央ユーラシア，南アジアと東南アジア，西アジアと地中海周辺の歴史的特質をそれぞれ理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 唐の統治体制と社会や文化の特色，唐と近隣諸国との関係，遊牧民の社会の特色と周辺諸地域との関係，南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色，東南アジアと周辺諸地域との関係，西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色，キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 東アジアと中央ユーラシア，南アジアと東南アジア，西アジアと地中海周辺の歴史的特質についての課題を主体的に探究しようとする態度を養うこと。	・秦・漢と遊牧国家 ・唐と近隣諸国の動向 ・仏教の成立とヒンドゥー教 ・南アジアと東南アジア諸国家 ・西アジアと地中海周辺諸国家 ・キリスト教とイスラーム教の成立とそれらを基盤とした国家の形成	【知識・技能】 東アジアと中央ユーラシア，南アジアと東南アジア，西アジアと地中海周辺の歴史的特質をそれぞれ理解している。 【思考・判断・表現】 唐の統治体制と社会や文化の特色，唐と近隣諸国との関係，遊牧民の社会の特色と周辺諸地域との関係，南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色，東南アジアと周辺諸地域との関係，西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色，キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジアと中央ユーラシア，南アジアと東南アジア，西アジアと地中海周辺の歴史的特質についての課題を主体的に探究しようとしている。	○	○	○	35
	定期考査			○	○		2
後期	D 諸地域の交流と再編 【知識及び技能】 海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がり，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 諸地域へのイスラームの拡大の要因，ヨーロッパの社会や文化の特色，中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割，アジア海域での交易の特徴，ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がり，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出についての課題を主体的に探究しようとする態度を養うこと。	・西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播 ・ヨーロッパ封建社会とその展開 ・宋の社会とモンゴル帝国の拡大	【知識・技能】 海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がり，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 諸地域へのイスラームの拡大の要因，ヨーロッパの社会や文化の特色，中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割，アジア海域での交易の特徴，ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がり，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出についての課題を主体的に探究している。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		3
							合計
							78